総社市立秦小学校 **学校だより**
令和５年度第１９号
７月３日（月）

☆ 君たちはどっちを選ぶ A⇔B ☆

どうしようかなあ。言った方がいいかな、言わない方がいいかな、正しいことは分かっていても、まちがっていることは分かっていても・・・うーーーん迷うことよくありますよね。私なんて迷いっぱなしです。今日の全校児童朝礼はパソコンを使ったリモート朝礼を行いました。朝から暑いので、ということもありますが、一冊の絵本を鮮明なテレビ画面で見てほしかったからです。7月の品格のお話をするのにぴったりな絵本を司書の小西先生が選んでくださいました。本の題名は『ともだちやもんな，ぼくら』です。すごく親近感の湧く本だなと思ったら、作者は元小学校教諭の「くすのきしげのり」さん。絵は福田岩緒さんで岡山生まれの方でした。子どもたちの身の回りに起きる事件(カブトムシ事件)が、どっちにしようか迷っている三人組の葛藤を中心に、たいへん表情豊かに描かれています。「そうそう、そんなことあったよなあ。」悪ガキだった古き良き少年時代を思い出します。

さて「主人公たちはどっちを選んだのか」を問うのは、愚問の気がします。人間だから、自分をかばったり、友達をかばったり、家族をかばったり、いろいろな都合のいい理由(わけ)を考えて揺れ動く時間があります。でも、この時間は人にしか味わえないものなのではないでしょうか。瞬時に正解を出してしまう AI:人工知能には決してない感覚だということを強調しておきたいのです。

『正直』になる前に思い悩んでいるそんな時間が大切なんだよと、ご家族の皆さんの、今だから話せる失敗談を子どもたちに、ぜひしてやってください。